

「函館市のデジタル化に関する市民アンケート」調査結果の概要

1 調査概要

- ①調査期間 令和5年8月2日～9月22日
- ②調査対象 15歳以上の市民2,000人
- ③調査方法 郵送による調査票の配布, 郵送またはオンラインによる回収
- ④回収数 712人(郵送:563人, オンライン:149人)
- ⑤回収率 35.6%

2 調査結果

① インターネットの利用について

- ・利用割合は73.5%となっており, 年代が高くなるほど利用率が下がる。
- ・利用機器は, 「スマートフォン」(95.2%)が最も多く, 利用目的は, 「SNSの利用のため」(87.6%)が最も多い。
- ・利用しない理由は, 「興味がない, 必要性を感じない」(52.9%)が最も多い。

② SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の利用について

- ・インターネットを利用している方のうち, SNSの利用割合は, 90.4%となっており, 利用しているサービスは, 全ての年代で「LINE」が最も多い。
- ・利用しない理由は, 「興味がない, 必要性を感じない」(60.0%)が最も多い。

③ キャッシュレス決済の利用について

- ・利用割合は67.4%となっており, 年代別では, 10代を除き年代が高くなるほど利用率は下がる傾向となっている。
- ・利用方法は, 「クレジットカード」(78.8%)が最も多く, 利用内容は「ショッピング」(94.0%)が最も多い。
- ・利用していない理由は, すべての年代で「現金がいい・必要性を感じない」が多い。

④ 函館市からののお知らせ (行政情報など) の入手方法について

- ・入手方法は, 「市政はこだてなどの広報紙」(72.5%)が最も多く, 次いで「新聞, 雑誌」(41.2%), 「テレビ, ラジオ」(33.3%)となっている。

⑤ 市のデジタル化について

- ・市の手続きがパソコンやスマートフォンからできることについて, 「推進すべき」が51.3%, 「現状で十分」が35.5%となっている。年代別では, 10代から60代までで「推進すべき」が多く, 70代および80歳以上は「現状で十分」が多くなっている。
- ・パソコンやスマートフォンの操作は, 「自分で学ぶ (書籍など)」(60.1%)が最も多く, 次いで「家族から学ぶ」(47.5%)となっている。年代別では, 10代から60代で「自分で学ぶ」の割合が多く, 70代および80歳以上で「家族から学ぶ」が多くなっている。
- ・デジタル化で不安に思うことは, 「個人情報の漏洩やプライバシーの侵害」(81.3%)が最も多い。
- ・デジタル化が進むことを期待する分野は, 「防災, 防犯」(57.3%)が最も多く, 次いで「交通, 物流」(45.9%), 「健康, 医療」(43.5%)となっている。年代別でも, 全ての年代で「防災, 防犯」が多くなっている。

⑥ 自由回答について

- ・デジタル化で便利になることを期待する意見がある一方, デジタル化に不安がある高齢者などへの対応を求める意見が多くあった。